

視察レポート

総務文教常任委員会 (4/20)

視察先…吉田小学校・旧燕工業高校校舎第3棟・スポーツパーク・東部学校給食センター・分水武道館・分水プール

教育委員会では、タブレットパソコンを活用した授業の実践を積極的に取り組んでいる。そのひとつ、吉田小学校では多様な学習場面や目的に合わせ、1人1台や2人に1台、またはグループでタブレットパソコンを取り入れた授業を行っている。

児童たちが慣れた手つきで文字や絵を画面に書き込む様子を見て、子どもたちのための、今後の教育環境の充実を認識した。

また、空手練習場等の整備を計画している旧燕工業高校校舎第3棟、杭打ち工事の始まった東部学校給食センター建設の工事現場、施設の耐震補強とトイレに様式化が施された分水武道館、分水プールの改修工事など、各施設を所管する担当職員から説明を受けながら、進捗状況や今後の進め方などを確認した。



児童が操作するタブレットを見入る委員

市民厚生常任委員会 (5/19)

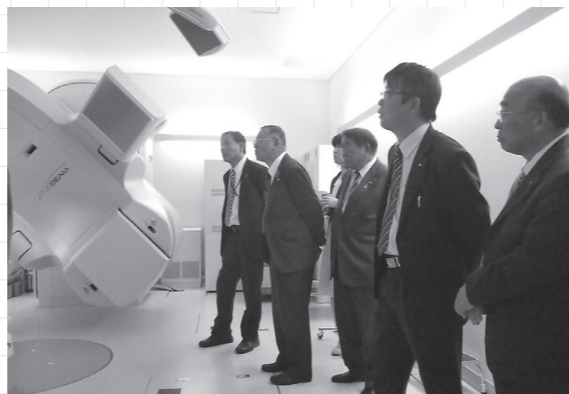
視察先…新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

県央地域に「県央基幹病院」の整備が進む中、当委員会では市内視察に変え、魚沼市にある「魚沼基幹病院」を視察してきた。魚沼基幹病院は、平成27年6月に開院し、自然豊かな場所で、上越新幹線浦佐駅より車で5分、市民バス、路線バスも充実した場所にある。初めに医院長よりあいさつがあり「医師不足・看護師不足により保有ベッド数454床のうち、受け入れ可能ベッド数は308床である。また医師等の年齢の高齢化等の大きな課題がある」との話があった。県央地域にも同じ課題があると考えられる。

実稼働は308床で、稼働率は100%。救急車搬送平均6.2件/日、平均在院数平均10日~11日とのことであった。外来受診待ち時間は平均2時間弱ほどであるとのことだが、アンケートの中には、「住民が安心して通院ができる」との回答があったとのこと、地域医療を支える病院だと感じた。

屋上のヘリポートには雪国ならではの融雪機能があったり、リハビリテーションでは、心臓疾患のリハビリも行えるという。

県央地域にも地域住民が安心できる基幹病院ができることを望む視察だった。



最先端の医療機器を視察

常任委員長からの報告です



産業建設常任委員会 (5/26)

視察先…廿六木中央通り線踏切拡幅工事現場・本町排水区管路施設改築現場・灰方幹線他歩道整備現場・一般国道289号燕北バイパス 朝日大橋・JA越後中央農協本店・新潟ダイヤモンド電子株式会社・大河津分水さくら公園・危機管理型バード対策堤防天端舗装現場

踏切内の歩道が狭小で歩行者等が安全に通行できず、解消するための廿六木中央線踏切拡幅歩道整備工事や管路50年経過し老朽化が進んでいる本町排水区管路施設改築更新事業箇所現地説明を受け、生活道路における交通安全対策や雨水・汚水を排除する管渠更生工法により流下能力の確保の重要性を確認した。

また、平成30年度末完成予定の全長4750メートルで第3区間、井土巻~小高地域の(仮称)朝日大橋395メートルと取り付け道路605メートルの延長1000メートル間、暫定2車線整備中の一般国道燕北バイパス(仮称)朝日大橋工事現場を見学し、県より説明を受ける。供用開始により、通過交通を分散し渋滞を緩和することや通学路等安全性確保、北陸自動車道、JR燕三条駅のアクセス道路としての強化が期待されるとともに燕労災病院の今後の方向性に改めて関心を抱いた。

JA越後中央農協本店では、農政改革が進められている中で農地集積に既に取り組みられ流動化が進んでいる所もあり、農業経営基盤安定の観点からも望ましく、大規模経営体は、戦略的な土地利用型農業の牽引者としての期待が大きい。しかし、集積による離農や経営縮小の判断に伴う懸念や、担い手不足等の課題解消に向けて取り組むことも大切であると再認識した。



公共下水の改修工事現場を視察

議会報等特別委員会 (5/10~12)

視察先…株式会社 電通 (東京都港区)

読み手を意識した情報の発信へ最先端情報の発信や現状について学ぶ。情報の多様化が進む中で、これまでの「受容の形態」から、お互いに発信する「共有の時代」へ大きく変貌していること。活字離れが進む中で読み手を意識した、読みやすい紙面を目指すために幾つかの提起があり、プレゼン後の全体討論でも活発な討議がありました。



視察先…小川町議会 (埼玉県比企郡)



町村議会広報コンクールで受賞歴があり、平成28年度も79号が編集・デザイン部門で奨励賞を受賞した、小川町の議会だよりを学びました。

委員長の高瀬勉さん曰く、「私は議会報のために議員活動をしている」との発言や、時には夜遅くまで議論を重ねる編集姿勢には、とても驚きました。大胆な改良を続ける紙面から、今後も目が離せません。

視察先…株式会社 会議録センター (埼玉県鴻巣市)

8年前から、議会報編集について講義を行っていただいている。今回の研修では、他自治体広報の取り組みやその実態、そして、紙面構成や、校閲・校正についての着眼と技法を学ぶことができました。前日までに行った視察での学びを踏まえ、広報における基本的かつ重要なポイントが、これまでに鮮明に見えたという印象がありました。



視察
来庁

5月17日(水)
秋田県北秋田市議会 広報広聴特別委員会
【市議会だよりの編集方針等について】

表紙写真の一般募集など、意欲的に市議会だよりの改良を続ける北秋田市の委員の皆さんと積極的な意見交換ができ、収穫の多い交流でした。今回で17自治体の視察受け入れとなりました。